東京の秋、文化財の秋

～東京文化財ウィーク～

11月3日㈷～10日㈰

5年目となる今年の東京文化財ウィーク（東京都教育委員会主催）の公開事業に、市教育委員会のほか、国際基督教大学、文部科学省国立天文台が参加しています。公開期間中である11月3日㈷～10日㈰の間、「武蔵野（野川流域）の水車経営農家」以外に、次の国登録有形文化財や東京都指定文化財を一斉公開します。

なお、ガイドステーション（三鷹図書館本館・大沢コミュニティセンター）では、期間中、都内の公開文化財の紹介をしています。

◆は、国登録有形文化財。◎は、都指定文化財）

◆国立天文台　大赤道儀室・第一赤道儀室・太陽分光写真儀室（大沢2－1－1）▽午前10時～午後4時公開。直接会場へ。

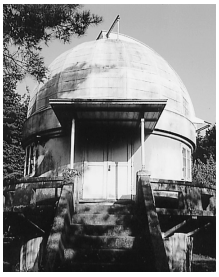
◆国際基督教大学泰山荘　高風居・書院・待合・蔵・車庫・表門（大沢3－10－2）▽11月3日㈷・4日㈭のみの午前9時～午後3時公開。直接会場へ。

※大学内の教育区域、個人住宅域、雑木林へは立ち入らないでください。

◎「武蔵野（野川流域）の水車経営農家」　1面および囲み記事をご覧ください。

◎出山横穴墓群第8号墓（大沢二丁目、大沢の里自然観察路内）▽11月6日㈬を除く午前9時30分～午後4時公開。団体見学（15人以上）の場合は㈱まちづくり三鷹☎49－8182で遺跡調査会による解説の予約ができます。

◎出山遺跡出土注口土器（新川3－7－9三鷹市遺跡調査会事務所展示室）▽11月4日㈪～8日㈯午前9時～午後4時30分公開。事前に市遺跡調査会事務所☎48－9454へ予約してください。



国立天文台「第一赤道儀室」

「武蔵野（野川流域）の水車経営農家」（大沢6-10-15）

対岸から見た水車小屋（中央）

「新車（しんぐるま）」と呼ばれるこの水車は、1808年（文化5年）ごろ創設されました。その後、度重なる改造を加え、現存する水車は、搗き臼14個（杵14本）、挽き臼2台、やっこ篩2台、せり上げ2台を備えた多機能性を持つ両袖型の大型水車で水輪の直径は約4・8㍍もあります。

武蔵野地域を代表する営業用水車であるだけではなく、製粉・精米用の水車として全国的にも非常に貴重なもので、平成10年に東京都の有形民俗文化財に指定されました。

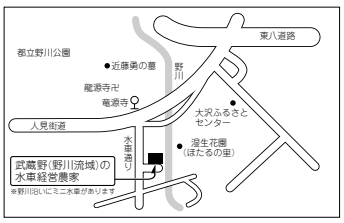
野川の河川改修工事により、1968年（昭和43年）に水車の稼働は停止しましたが、水車経営農家の姿が概ね含めて面的に保存されています。

◆公開建物など

①母屋　1813年（文化10年）ごろ建築の市内最古の建物。屋根は寄棟造で茅葺き。

②水車小屋

③土蔵・物置（**初公開**）　明治14年に建築された土蔵と大正末ごろの物置です。中には、多数の民具が収蔵されています。どちらも平成13年度に修理工事が完了しました。



④そのほか　敷地内では、水車用用水路跡やさぶた（水量を調整する仕切り板）、石橋の通水橋なども見ることができます。

※建物内の一部は非公開です。駐車場はありません。

◆公開日時　11月から、原則として毎週土・日曜日（年末始12月28日～1月4日を除く）に公開することになりました。時間は午前9時～午後4時です。

▼見学は事前予約制です。㈱まちづくり三鷹☎49－8182へ予約してください。

※なお、東京文化財ウィーク期間中（11月3日㈷～10日㈰）は、毎日公開しています。

水量を調節する「さぶた」

聞いて！私たちの主張

第5回三鷹市中学生意見発表会

「中学生からのメッセージ」

市では、児童・生徒の健全育成を推進するため、学校、家庭、地域および関係諸機関が連携を図り、その充実に努めています。

最近、中学生に関わる事件や問題行動などが起き、中学生の考え方や行動のあり方が注目されることがたびたびあります。今年も、中学生7人から今考えていること、中学生から見た地域社会や大人の姿、また、自分自身が抱える問題などを自由に発表してもらいます。

その意見を通して、学校、保護者、地域および警察などの関係者が中学生に対する理解や認識を深める機会とします。

三鷹市・三鷹市教育委員会・三鷹警察署主催。

▽10月26日㈯午前10時～11時40分、教育センター3階大研修室で。

▼当日、直接会場へ。定員120人。

※車での来場はご遠慮ください。

⇨生涯学習課☎内線3312

一日家庭教育学級

■共に生きる社会とは何か？

作家で、「盲導犬ベルナのお話の会」主宰の郡司ななえさんを招いて、ペットとしての犬と盲導犬との違い、視力を失った方々のパートナーとしての盲導犬の生活についてのお話を4・5・6年生の子どもたちと一緒に伺います。

▽10月31日㈭午後1時45分～3時20分、大沢台小学校体育館で。

■ご存じですか？子どもが巻き込まれやすいこんなトラブル

中高生がねらわれている携帯電話によるチェーンメール、街頭でのキャッチセールスなどの落とし穴についてのお話を伺います。講師は、東京都消費生活総合センター相談員の山下三重子さん。

▽11月2日㈯午前10時～正午、第一中学校数学室で。

■映画に見る心理学

人の一生をみると、年齢による横断面で「心の危機」や「発達課題」が考えられますが、一人ひとりの個人の「発達」あるいは「生き方」といった縦断面からの「人の理解」も必要です。「子どもの気持ちがわからない」「なぜキレるのかわからない」といったことを耳にしますが「人の理解」について、まずは映画の登場人物の理解からはじめてみませんか？

▽11月6日㈬午後2時～4時、第四中学校図書室で。講師は、同校スクールカウンセラーの松井知子さん。

▼いずれも、申し込み・問い合わせは生涯学習課☎内線3316へ。

みたかジュニア・オーケストラ第3回定期演奏会

10月27日（日）午後2時

三鷹の森ジブリ美術館での出張演奏

みたかジュニア・オーケストラ（MJO）は、今春から管楽器が加わり、現在39人の団員で活動しています。老人福祉施設や「三鷹の森ジブリ美術館」での訪問演奏、また、今年度からはトウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ（TMP）の公演前にプレコンサートも始め、舞台での醍醐味も味わい、ますます意気が上がっているところです。

今回は、TMPの首席チェロ奏者の丸山泰雄さん、長瀬夏風、曲目＝ヴィヴァルディ「2台のチェロのための協奏曲」、モーツァルト「ディヴェルティメントK・334よりメヌエット」、プリテン「シンプル・シンフォニー」ほか。

⇨芸術文化振興財団☎47－5122

▽10月27日㈰午後2時開演（1時30分開場）、芸術文化センター風のホールで。全席自由・入場無料（3歳以下のお子さまの入場はご遠慮ください。1歳半以上は託児サービスあり（要予約、定員10人）。

指揮＝内藤佳有、チェロ独奏＝丸山泰雄・長瀬夏風、曲目＝ヴィヴァルディ「2台のチェロのための協奏曲」、モーツァルト「ディヴェルティメントK・334よりメヌエット」、プリテン「シンプル・シンフォニー」ほか。

⇨芸術文化振興財団☎47－5122

びにお褒めの言葉をたくさんいただけるようになりました。今年は近代の作品を取り上げて、譜面に書いてあることを楽器で正確に実現することを特に勉強しました。そして、その先にあるものにも時々見えてくるようになってきたことが一番の進歩だと思います。

市民憲法講座「個人と国家」

市と憲法を記念する三鷹市民の会主催。ふだん何気なく使っている言葉である「個人」「国家」「自由」などの、本当の意味は何でしょうか。個人にとっての国家、憲法とは何かを理解するための一つの考察として、講師の早稲田大学教授の樋口陽一さんにお話しいただきます。

▽11月6日㈬午後6時30分～8時30分、三鷹駅前コミュニティセンターで。

▼当日、直接会場へ。

※手話通訳あり。

⇨企画経営室☎内線2115

●子育て支援セミナー「子育てにやさしいまちづくりをめざして」

―三鷹市の事例から―

市と㈱まちづくり三鷹主催。ITの活用や民間企業との協働など、三鷹市が進める多様な子育て施策を事例として、社会全体で次代を担う子どもを育てていくために、自治体や社会福祉法人、事業者が今取り組むべき課題とその方向性を探るセミナー。

▽10月28日㈪午後2時～6時、三鷹産業プラザで。午後5時30分から交流会（1千円）あり。講演①「少子化に諸外国はどのように対応したのか」日本女子大学教授の大沢真知子さん。②「東京都の福祉改革と子育て推進施策」東京都福祉局子育て推進課長、③「三鷹市の子育て支援施策の現状と今後の課題」三鷹市健康福祉部次長、事例発表①「子ども家庭支援センター・公設民営型保育園等」、②「みたか子育てねっと」、③「市民からみた三鷹市の子育て施策（NPO法人子育てコンビニ）」など。

▼10月22日㈫までに「子育て支援セミナー受講希望」、氏名・住所または所在団体名と所在地・電話番号・ファクス番号・Eメールを記入し、㈱まちづくり三鷹FAX40－9750・Eメール：info@mita-zane.jpへ申し込む。先着150人。

⇨同社☎40－9669

生涯学習市民意向調査実施に協力ありがとうございました

市では、「三鷹市生涯学習計画」の改定に向け、18歳以上の市民2,500人を対象にアンケートを実施しました。

10月1日までに1,156人のみなさんから回答をいただくことができました。お忙しいところ協力いただき、ありがとうございました。

⇨生涯学習課☎内線3311